

経営改善の効果をどのように見極めるか

問われる佐渡汽船への支援のあり方

「あかね」売買契約が成立

佐渡汽船(株)はこのほど、昨年まで小木・直江津間に就航していた高速カーフェリー「あかね」の売却にあたって、スペインの海運会社との間で売買契約が成立したことを発表しました。

上越市は、この「あかね」の建造にあたって、2013年と2015年に合わせて約2億5,100万円の補助金を交付しています。このたび、補助対象になった財産が有償譲渡されたことを受けて、佐渡汽船(株)に対して補助金の返還を求めることになります。

補助金返還と同時に支援策も

返還額については、市内部で検討している

としていますが、同時に同社の経営状況が極めて厳しいことから、補助金返還金に相当する金額の支援案についても検討しているとのこと。

12日に行われた市議会文教経済常任委員会(上野公悦委員長)にこれらのことが報告され、審議されました。

問われる支援のあり方

市民にとっては、小木直江津航路は上越市と佐渡市を結ぶ重要な航路であることから、その存続を図るためにはできるだけのことをしたいという思いがあります。

同時に、コロナ禍で厳しい経営状況に陥っているとは言え、会社としての経営

改善の努力とその効果が見えない以上、闇雲に支援することもできません。

9月議会直前まで

委員会の審議では、「9月定例会に支援案を提出できるよう手続を進めているとのことだが、経営改善の効果がわからない以上、時期尚早ではないか」との指摘があり、当局から「今後も効果に注目し、8月に再度行っていただく委員会には、その効果が見極められる資料を出せるようにしたい」と答える一幕もありました。

9月議会を前に、直前まで経営改善の効果を見極めることになりそうです。注視していく必要があります。

会員の輪広がる

UPZ議員研究会

柏崎刈羽原発から30km圏内の自治体の議員で作る議員研究会：UPZ議員研究会の仲間が増えました。

この研究会は、30km圏内の自治体も、立地自治体と同じように、再稼働などに対する事前了解権のある安全協定を結ぼうという研究会で、現在日本共産党議員団の3人の議員をはじめ、上越市議会からは7人の議員が参加しています。

今回新たにオブザーバーとして参加したのはいずれも合併前の町議会議員で、元柿崎町議会議員の長井泰雄さんと、元大潟町議会議員の佐藤忠治さんです。

これからも、よりたくさんの方のみなさんが関心を寄せてくださることを期待しています。

日本共産党上越市議会議員団

市政報告会

7月29日(木) 18:30~

市民プラザ第2会議室

日本共産党上越市議員団ニュース

No.715 2021年7月18日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況

(7月9日現在)

PCR検査実施件数 12,495件(前週+23)
管内陽性件数 144件(前週+1)
上越市内陽性件数 125件(前週+1)
陽性率 1.152%(前週1.146%)

ガーベラの花を手に希望を語る たいらあやこ

衆議院比例代表予定候補

日本共産党衆議院北陸信越ブロック比例代表予定候補のたいらあやこさんが、10・11の両日上越入りし、各所で街頭から市民に直接訴えました。

訴えは、「新型コロナから命と暮らしを守る政治を」「市民と野党の共闘で原発ゼロ、ジェンダー平等を実現する野党連合政権をつくろう」という内容です。

手に持っているのはガーベラ。花言葉は希望です。



大島区や柿崎区では橋爪議員団長とともに訴え